

青い波北陽台

令和4年12月23日 発行
長崎県立長崎北陽台高等学校
西彼杵郡長与町高田郷3672
TEL 095-883-6844
FAX 095-883-0776
発行責任者 山口千樹

事実か意見か

教頭 濱栗啓吾

「①ウシくんはけちだ。②誕生日に本をくれた。③きたない本だった。④『何回も読んだよ。』と言った。⑤読みあきた本をくれるとは、本当にけちだ。」

(NHK教育『わかる国語 読み書きのツボ』より)

ウシとカエルの動物2匹からなる日本のお笑い「コンビ」パペットマペットが出演する番組中で示されたカエルくんの書いた文章である。

「ウシくんはけちだと思いますか。」文章を読んだ小学生が意見を求められ、ほとんどの児童が「ウシくんはけちだと思う。」と答えた—

「大学入試センター試験」に代わって、2021年度大学入学者選抜より「大学入学共通テスト」が導入され、来月3回目を迎える。およそ30年にわたり実施されてきた前者とは、解答方法が「マーク式」であることに変わりはないが、これまで実施された2回のテストでは様々な変化が見られた。特に英語ではリーディングとリスニングの配点が1:1(100点ずつ)になり、リスニング力がより重視されるようになったばかりでなく、出題内容も大きく変化している。センター試験では定番だった発音、アクセント、語句整序などはもはや姿を消している。一方で総単語数が約1500語増加し速読力がより求められるようになったり、幅広い話題・多様なテキストから概要や要点を把握・整理する力が問われたりするようになっている。

中でも表題に掲げている「事実か意見か」を見分ける問題は見かけほど簡単ではない。

番組は続く。

—冒頭の①～⑤の文章を、「事実」と「意見」に分けるタスクを課すと、児童たちは考えを交わしながら、①③⑤が意見、②④が事実と概ね見分けることができた。再び「ウシくんはけちだと思いますか。」と問うと、ウシくんをけちだと思う人は誰もいなかった…

この意見の変化はまぎれもなく、思考の修正がなされた結果もたらされたものである。当初は事実と意見が混ざった文章を鵜呑みにしたため、⑤のように事実無根の根拠と誤った結論に対して異議を唱える児童はいなかった。しかし、いったん情報を整理して改めて理解に努めると、「何回も読んだということはおもしろかったということで、その本をカエルくんにあげたということは、けちじゃないと思う」などの意見が出るなど、客観的に考えることができるようになった。

私たちの身の回りには情報があふれている。その量は年々増加している。それが意見であれ事実であれ、様々なメディアを通して押し寄せてくる。大学入学共通テストで問われることを鑑みて、その情報が“fact”か“opinion”かを見極めて正確に読み解くことができる資質がSociety 4.0から5.0の過渡期に生きる私たちに求められているのだ。

共通テストまであと22日。42回生諸君の健闘を心から祈っている。

理数科1年 ～理数科研修旅行～

理数科1年40名は、12月5日(月)～7日(水)にかけて、茨城県つくば市の研究所(産総研等)、東京都内の国立科学博物館や日本科学未来館で様々な研修を行いました。最先端の研究についての講義・実験の受講、研究施設等の見学を通して“本物の科学技術や研究”の魅力を体験しました。また、本校40回生で理数科のOBの方から、学生時代にやっておくべきことの講演をしていただき、自分の進路等について深く考える、実りある研修旅行となりました。



<左上の写真>
つくば宇宙センター

<右上の写真>
OBによる講演



<左下の写真>
産業技術総合研究所

<右下の写真>
国立科学博物館

健脚くらべ ～琴ノ尾岳を目指して～

12月9日(金)、今年も本校の伝統行事「健脚くらべ」が行われました。日頃の体育の8分間走等で鍛えた持久力を発揮し、1・2年生527人が琴ノ尾岳を折り返す厳しいコースを走破しました。体力的にきつくなる、最後のチェックポイントであるふれあい公園では、班のメンバーで励ましあい、最後までがんばろうとする姿が見られ、クラスの絆も深まったことと思います。大きな怪我等もなく、無事生徒も完走した達成感に浸りながら、PTAの方々の炊き出しによる美味しいうどんをいただきました。

各班、クラスの表彰は以下の通りとなりました。

<総合>	1位: 1年5組	2位: 1年2組	3位: 1年3組
<男子>	1年 1位: 4組1班	2位: 2組1班	3位: 1組1班
	2年 1位: 6組1班	2位: 2組1班	3位: 1組1班
<女子>	1年 1位: 5組1班	2位: 3組1班	3位: 2組1班
	2年 1位: 3組1班	2位: 2組1班	3位: 1組1班



琴ノ尾岳を目指して出発



学校到着

うどんをいただいている様子

5年連続21回目 花園出場決定! ~いざ花園へ!~

第102回全国高等学校ラグビーフットボール大会に本校ラグビー部が5年連続21回目の出場を決めました。今年度はBシードということで先日行われた抽選の結果、12月30日2回戦(10:45キックオフ 第2グラウンド)で北見北斗(北北海道)と日本航空石川(石川)の勝者と対戦することが決まりました。出場に際しまして多くの方からの物心両面からの激励等をいただき、ありがとうございました。今年度もコロナウイルス感染拡大の影響により、例年のように初戦から花園での希望者による応援はかきませんが、今年も昨年に引き続き、全国大会で青い旋風を起こしてくれるものと信じています。ぜひ、長崎北陽台ラグビー部の応援をよろしくお願いいたします。

ラグビー部主将 白丸 智乃祐 さんの決意表明

私たちは、この1年間、花園ベスト4という目標のもと、日々練習に励んできました。3月の選抜大会では全国大会への切符を手にしていただけの、新型コロナウイルスの影響により辞退することになりました。今回の全国高校ラグビーフットボール大会、通称、花園では、その悔しい思いを胸にこの恵まれた環境で練習できていることに感謝し、ノーサイドの笛がなるまで、一生懸命頑張ってきます。

各種大会の結果

〈文化部〉

放送部 12月9日~11日 第44回九州高校放送コンテスト佐賀大会
朗読部門 小川みなみ 決勝進出 ベスト20

英語部 12月10日 第15回長崎外国語大学英語ボキャブラリーコンテスト(オンライン)
松本 新・平山 舞 第3位

〈その他〉

12月11日 第三回高校生条例案コンテスト(活水女子大学主催)
永尾 紗 最優秀賞

1月の主な月間行事予定

- 4日(水)、5日(木) プレテスト(3年)
- 6日(金) 冬季自学(3年)
- 7日(土) 土曜自学(3年)・校外実力試験(2年)
- 8日(日) 校外実力試験(2年)
- 9日(月) 成人の日
- 10日(火) 始業式、修学旅行(2年 ~13日)
- 11日(水) 百人一首大会(1年 午後)
- 13日(金) 3年生④まで、放課後会場下見
- 14日(土)・15日(日) 大学入学共通テスト(3年)
- 14日(土) 校外実力試験(1年)
- 16日(月) 凧あげ大会(2年 午後)
- 17日(火) 特別編成授業開始
- 21日(土) 3年面談開始
- 28日(土) 土曜自学(1・2年)

◎これまでの高校生活をふりかえりましょう。

長かった2学期も終わりをむかえようとしています。この1年どうでしたか。去年の今頃は、長崎北陽台の受験に向けて猛勉強していた頃でしょうか。期待を胸に長崎北陽台へ入学した頃の気持ちはどうでしょうか。うまくいったこともいかなかったこともすべて肯定し、今後の一人ひとりの成長のための糧としましょう。

次の点についてふりかえってみましょう。

<学習面について>

- 学校の授業に大切に取り組んできましたか？
- 家庭学習の充実を図れましたか？
- 自分で考えて、学習する習慣は身に付きましたか？
- 中学校のときと比べて、学習への取組に対して、変化はありましたか？
- 主体的に学ぶ姿勢は身に付きましたか？
- 先を見据えて、学習に取り組んでいますか？

<生活面について>

- 長崎北陽台生として、ルールを守り、自覚ある行動ができていますか？
- よりよい集団生活を送るため、お互い思いやりのある行動をとれていますか？
- 学校行事に積極的に参加できましたか？
- 部活動に意欲的に参加できましたか？

すべての項目について、取り組めた人は少ないと思います。しかし、取り組むために自分自身にどのような点が不足し、努力をしていくべきかが少しずつ理解できてきたはずで、これまでの経験を生かし、失敗を恐れず、今後も何事にも挑戦し続けてください。期待しています。

◎健脚くらべ

クラス対抗では、なんと上位3位を1学年が独占しました。とても嬉しく思います。1位5組、2位2組、3位3組でした。他のクラスもよく頑張りました。44回生の底力を感じる大会でした。



早いもので、共通テストまであと3週間あまりになりました。ここからは体力および精神力勝負です。残された時間は、皆同じ。これからの時間をいかに運用していくのか、一人ひとりの意識にかかっています。放課後自学・学習会もひと区切りつき、放課後の時間を自分で上手く管理していかなければなりません。長い人生の中のたった数週間、寝食忘れて勉強に没頭してみませんか。各教科、残された授業時数も少なくなってきました。授業中に一番頭が冴えている状態になるよう生活リズムを整えて、友人との何気ない語らいの中で気分をリフレッシュし、心身の充実を図りましょう。集中力を高めましょう。夜型の方は朝型への切り替えを！

先日、あるクラスの人が話していました。「あと30日もある！まだやれるはずだ！」と。現役生が入試当日まで伸び続けるというのは本当です。まだまだ伸び代はたくさんあります。本番での自己最高得点獲得を目指して、今やるべき事に納得のいくまでこだわり続けてほしいと思います。

とはいえ、年末年始、久々にお会いした祖父母の方々に笑顔で対応できるくらいの心のゆとりは持ちたいものですね。

姜尚中氏来校！

メディアでおなじみの、政治学者で鎮西学院大学学長の姜尚中氏が12月8日（木）来校されました。山口校長が生徒へメッセージをお願いしたところ、下記の色紙をいただきました。読み方や意味については自分で調べて、姜尚中先生からのメッセージをしっかりと受け止めましょう！

